

令和6年度 第2回学校運営協議会

時：令和6年11月8日（金）

於：府立香里丘高等学校

司会：内池

書記：平松

【構成メンバー出欠：（協議会委員）】

山田 亨、本房 達哉、砂川 隆司、村上 徹、田中 弘江、田井中 直美＝出席6名

【構成メンバー出欠：事務局（学校側）】

宮内 順（校長）、内池 憲治（教頭）、榊山 幸晴（事務長）、丸岡 大輔（首席）、
宮前 侑介（首席・進路指導主事）、冢瀬 克徳（教務主任）、松下 真二（生徒指導主事）、
小池 浩司（保健指導主事）、平松 陸（書記）＝出席9名

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 協議項目（司会：会長）

1) 本日の授業見学をふまえてのご意見等

◎Chromebook を使ったアクティブラーニングを積極的に取り入れていく必要がある。（委）

◎アクティブスポーツコースの授業において生徒が主体的に学んでいて活発であった。（委）

2) 学校経営計画進捗状況について（別紙参照）

◎大学入試の制度に柔軟に対応できる指導体制が必要である。（委）

3) 第1回授業アンケートをふまえた各教科の意見について（別紙参照）

◎Chromebook の活用方法等の研修を定期的に教科ごとや学校全体で行う必要がある。（委）

◎数学の少人数展開は1年生だけでなく、3年間継続して実施していきべきではないか。（委）

◎SNS の影響で読解力がないと片付けるのではなく、どのようにすれば読解力や読解力が
向上するのか考えていくべきではないか。（委）

4) 来年度使用予定教科書について（別紙参照）

◎来年度に向けて選定された教科書の実物を用意してほしい。

◎全会一致で可決

5) 10月末現在の遅刻者数

◎遅刻の総数が増えた原因は(委)

生徒一人ひとりに様々なバックグラウンドがあるため。

◎長期欠席生徒への対応は(委)

担任や学年主任と連携して、ときには家庭訪問をして生徒一人ひとりの現状と課題にあった対応をしている。

◎オンライン授業の実施(委)

生徒の希望に応じて実施している。

今後、オンデマンド配信の実施を検討している。

6) 43期生進路中間報告

◎指定校推薦

関関同立(11) 産近甲龍(10) 摂神追桃(11)

◎学校推薦型選抜(公募制)

出願総数(471)

内訳(一部)

龍谷大学(135)摂南大学(81)近畿大学(74)

4. 校長謝辞

今後の予定

第3回 令和7年1月24日(金) 15:30より